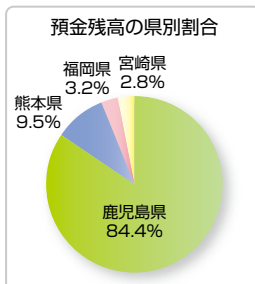
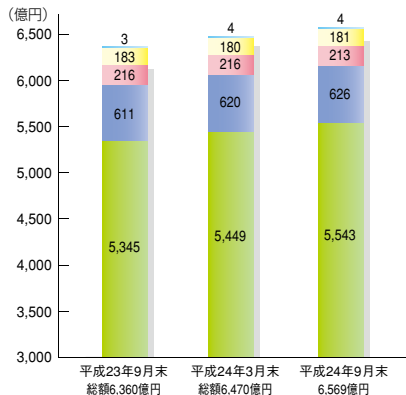


平成24年9月期 決算概要(単体)

● 預 金

預金(期末残高)は、各種キャンペーンの展開などによりお客様のニーズにお応えした結果、平成24年3月末に比べ99億円増加し6,569億円となりました。

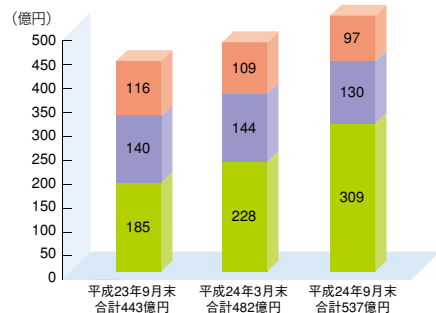
● 預金残高の推移



● 預り資産残高

預り資産残高は、平成24年3月末に比べ55億円増加し537億円となりました。なかでも個人年金保険は、需要の高まりを受けて平成24年3月末より81億円増加し309億円となり、預り資産全体に占める割合も57.52%となっております。

● 預り資産残高推移

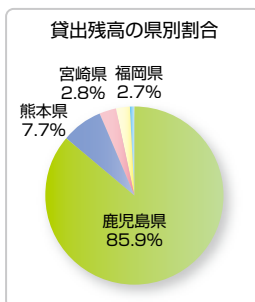
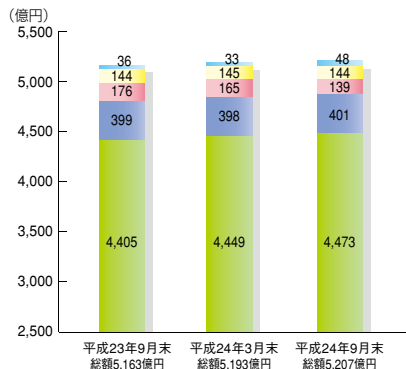


● 貸 出 金

貸出金(期末残高)は、法人や個人のお客様の資金ニーズに積極的に応えした結果、平成24年3月末に比べ14億円増加し5,207億円となりました。

総貸出のうち91.88%が中小企業・個人向け貸出であり、地域のお客様に安定的な資金を供給し地域経済活性化へ貢献しております。

● 貸出金残高の推移



● 自己資本比率

● 自己資本比率(単体) 9.40%

自己資本比率は貸出金や有価証券などの総資産(リスクアセット)に対する自己資本(資本金内部留保など)の割合を示すもので、銀行の健全性や安全性をみるうえで重要な指標となっております。

平成24年9月末の自己資本比率は9.40%で、国内で業務を行う銀行の基準4%を大きく上回っております。また、資本金などの基本的項目(TierI)だけで算出した場合は7.06%となります。

